

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2690900655		
法人名	ヒューマンライフケア株式会社		
事業所名	ヒューマンライフケア深草グループホーム(1階)		
所在地	京都府京都市伏見区深草瓦町62番の3		
自己評価作成日	令和5年8月10日	評価結果市町村受理日	令和5年11月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/26/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyoVoCd=2690900655-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	京都ボランティア協会
所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1「ひと・町交流館 京都」1階
訪問調査日	令和5年9月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

令和5年3月に開設後、介護施設ではなく生活の場であることを目標に、入居者様にはこれまで生活の中で行ってきたこと(調理や清掃、家事等)を継続してこれからもしていただけるよう職員一同支援に努めています。また、外出の機会を積極的に取ることで、気分転換や季節を感じていただいたり、おやつ等の買い物に出かける等の取り組みを行っています。また、1年を通して季節のイベントも取り組んでいきたいと考えており、この夏はスイカ割りを行いました。深草GH便りや家族レターを作成し、毎月のご利用者様のご様子を写真を入れご家族様へ知ってもらえる取り組みを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

2階に同じ。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の理念があり、拠点独自の理念は開設前にどのような施設にしていきたいかを職員で話し合い決定した。新規スタッフへはオリエンテーション時に説明している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎週金曜日に地域介護予防推進センター主催の公園体操に参加させていただき、そこで地域住民の方々と交流の機会を持つことが出来ている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まだ、地域に向けての発信は出来ていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括の方や、ご利用者様家族に参加いただき、施設運営やご利用者様の生活についてのご意見をいただいている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故報告や運営推進会議の議事録や資料を提出している。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3か月に1回身体拘束廃止委員会を実施。身体拘束を行わない高齢者虐待防止の研修を通して学ぶ機会を作っている。		

京都府 ヒューマンライフケア深草グループホーム(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	半年に1回、高齢者虐待防止の研修を実施。皮下出血等の身体の異常を発見すれば写真と共に記録に残すよう徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご利用者様が生活する上での手続きや金銭管理が負担となっているご家族様へ後見制度のご提案させていただいた。私自身学ぶ機会を持つことが出来ていません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に事例を交え、時間を取り説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプランの振り返りをお伝えする際に、ご家族様からの要望等をお聞きしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	立ち上げからまだ間もなく、運営についても固まっていない部分が多いため、フロア会議等を通して職員から意見を聞き反映できるよう取り組んでいる。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1度職員にむけての就業アンケートが実施され、環境改善のために取り組んでいただいている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得のための研修案内や法人割引等もしていただき学べる機会を作っている。内容によっては勤務として研修に参加させていただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の管理者の方と今後、情報共有やイベントなども合同で出来ればと話を行っているが、まだ取り組みまでは出来ていない。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメント時に時間を取りご本人やご家族様から話の聞き取りを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前のアセスメント時に時間を取りご本人やご家族様から話の聞き取りを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居のタイミング(ご家族様のご都合が良い時など)を計画、ご本人様の入居の拒否がみられる時にはご自宅まで伺い入居していただくための対応も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活されるのは利用者であり職員ではない。そのため利用者主体の生活環境を作れるよう職員へは伝え続けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院対応であったり、一緒に外出なども勧めさせていただき継続して入居後も利用者様との関係を維持できるよう取り組んでいる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人や、在宅時の地域の方々がご利用者様に会いに訪れている。		

京都府 ヒューマンライフケア深草グループホーム(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様の様子を見て、座席配置を変えたり交流できるレクリエーションの実施や職員が会話の橋渡しを行うなど取り組んでいる。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現状サービス終了された方はいません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の面談で思いや暮らし方の希望を聞き取るよう取り組んでいる。入居後もコミュニケーションを大切に表情や仕草等から意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の担当ケアマネージャーや相談員から情報を共有いただいたり、入居前の面談時に同席いただき情報を共有いただいている。入居をご希望された経緯についてはご家族様から聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様1人1人出来ることは何かを、日々職員間で話し合い、出来ることは今後も継続して実施いただけるよう取り組んでいる。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のフロア会議で1人1人の暮らしの課題、ケアの方針について話し合いを行っている。介護職だけでは解決できない事等については往診時に主治医や訪問看護師に相談をしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	上手くいった関りや支援等を記録し申し送りで共有。上手くいかなかった内容も共有し、フロア全体で支援について考えている。		

京都府 ヒューマンライフケア深草グループホーム(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院対応等ご家族様対応であるが、病院からの退院時にご家族様から不安の声があり送迎に付き添いを行うなどの取り組みをしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歯磨き等の日用品は近所のスーパーへ買い物に出かけたり、植物が好きなお利用者様は近場の商店街へ出かけ外出の機会を意図的に作っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	虫歯治療や、入れ歯調整、体調面で気になる事等ご家族様からの希望があれば訪問診療時にお伝えするようにしている。また、入居前から通われていた病院へ継続して受診へ行かれていますご利用者様もいる。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の中での気づきは記録の徹底。皮下出血等があれば写真も残し、訪問看護時に気になることを記入した連絡票をお渡しし、往診当日にみていただき助言をいただいている。外部の医療機関へ受診する際は診療情報提供書も作成いただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の担当相談員へご利用者様の状況を小まめに確認し、ご家族様の意向も踏まえ認知症の進行も抑えるために早期退院できるよう取り組んでいる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期施設で出来ることをお伝えしている。看取りの実績は当拠点ではまだないが、重度化の際は病院、ご家族様、施設と話し合いの場を持てるようお伝えしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時はかかりつけ医へ連絡(24h対応)し指示を仰ぐようにしている。心肺蘇生等の訓練は実施出来ていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	開設時に非常災害時研修と8月に非常災害時BCP研修を実施。避難訓練も実施予定。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の人格を尊重した声掛けを意識している。声掛けについては互いに注意出来る環境を作り、施設長や副施設長より指導が入る時もある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日中は居室で休みたい方はいつでも休めるようにしたり、髪の毛のカットやパーマやカラー等ご利用者様に決めていただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかなタイムスケジュールは決まっているが、ご利用者様の生活リズムに合わせてその日の職員がタイムテーブルを決め動いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	アクセサリーをつけられたり、爪にマニキュアを行ったりしている。ご家族様と衣服を買いに外出もされている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全料理工程(野菜を切る、炒める、揚げる等)、準備(お盆を並べる、お箸を配る、副食の取り分け等)生活の場を意識し、全てご利用者様と共同で行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量が少ないご利用者様にはジュースをゼリーにし、水分摂取を促している。ムース食の方はカロリーが少ないため、往診時に相談しイノラスを処方いただいている。		

京都府 ヒューマンライフケア深草グループホーム(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケア自立されている方は声掛けにて実施いただき、介助が必要な方は職員が付き添い実施いただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	失禁がみられるからとりハビリパンツを常時着用されていた方は、ご家族様に相談し布パンツに小さめのパット着用。定期的な排泄声掛けで自立出来ている。また、車椅子を使用されている方も基本はトイレへ誘導し排泄されている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日中の活動量の確保と水分を積極的に摂取いただいている。服薬については主治医に相談行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	3日に1回のペースで入浴していただいている。午前中拒否がみられたご利用者様にはお昼や夕刻等時間を調整している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は決めておらず、寝たいときに寝られるよう声掛けを行っている。居室に入られてからしばらくテレビを見て就寝されるご利用者様もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬が変更になった際は必ず理由を記録し申し送る。錠剤が飲み込みにくいご利用者様は主治医に相談し顆粒状にし服薬いただいている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	積極的に外出の機会(ドライブや散歩、買い物)を作り、公園体操は地域住民との交流の場となっている。体操や調理等出来る事が継続出来るよう取り組んでいる。		

京都府 ヒューマンライフケア深草グループホーム(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	積極的に散歩の機会を作り、入居前に住まわれていたサ高住の管理者へ挨拶に行きたいと要望があった際は、事前に連絡し歩いて会いに行ったりと取り組んでいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金は金庫に保管しており、ご利用者様の希望に応じてそこから衣服や靴等購入していただいている。また一緒に出掛けた際にご自身が購入されるものを預り金からお支払いいただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を使用されている方には使用方法を伝えご家族様との連絡を取り次いでいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁にはご利用者様が色塗りをされた絵を貼ったり、季節に応じたカレンダーをご利用者様と共同で作成し壁に貼っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ一席を用意し、ご利用者様同士座ってゆっくりと過ごしていただいている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご自宅で使い慣れた家具等お持ちいただけるようお伝えし、ご利用者様それぞれが過ごしやすい環境の居室となるようご家族様にも協力いただいている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の居室と分かるよう、名前の書かれたラミネートを貼らせていただいたり、ご自身の居室の掃除機をかけていただいたりしている。		